

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス・アニマートすがも				公表日	令和7年 3月 7日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		勉強するところ、遊ぶところの場所を変えてスペースを分けています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	職員の増員を継続的に採用を強化しています。	採用した職員の定着を心掛け、振り返りを行う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		安全面を考えてマットを引いている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		温度、湿度計を見て必要な時には加湿器を付けている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		不穏時、静かに勉強をしたいときには相談室を使用している。	必ず職員が付く	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		日常的なミーティングを活発に行い、その話し合いの中で柔軟に行う。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		集計後に職員間で話し合いをしております。	貴重なご意見を日々の業務に活かせるよう職員間で共有し改善に努めて参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		職員の意見を大事にし会議を設けております。	会議録（ノート）にまとめる	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		現在第三者により外部研修評価を実施できないが検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		外部研修はもちろんのこと、児御所内でも月に1回行っている		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		ホームページにて公表		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		年に一度変更がないか保護者様に確認している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		全職員が全児童に関わっているため会議を行っている	日常的な支援や会議等をもっと深めていく必要がある	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		前日の療育の振り返りを次の朝に話し合いを行っている	小さな気づきを見逃さない。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		アセスメントシートを活用しています		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		それぞれの支援を踏まえながら検討しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		支援会議をおこなっています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		長期休み、祭日に外出イベントを行い、室内では工作など担当を決めて計画しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		個々の状況に応じて作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		ミーティングを実施し支援の共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		翌日のミーティングで振り返りを行い、情報共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		勉強ファイルを作成して記録してます。	次の日に前日の課題の振り返りを行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定められた期間内に行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3		総合的な支援を行うことを基本としながら意識しております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		自己決定を尊重した関り、支援を行っております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		児童発達支援管理責任者が出席しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		学校、相談員さんと連携しております。	必要に応じて、それぞれの機関との連携を行っていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		各学校と情報共有しています。	今後も細やかな情報共有を行っていきます
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		できておりません。	必要に応じて、それぞれの機関との連携を行っていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		現在該当者なし	必要に応じて、それぞれの機関との連携を行っていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		今年度実施できておりません	より多くの助言、研修を受ける機会を設け、職員、事業所のスキル向上を図ってまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	近隣の事業所さんとの挨拶はあります	今後イベントなどを通じて、保護者様からの意見をいただきながら検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		参加したいがなかなか時間が合わず参加できていません。	参加できるよう検討して参ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		連絡帳、お送り時にモニタリング時に必要な状況の共有を行っています	保護者様からお話を頂けるように関係をよりい深めていきたいと思ひます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		必要に応じて相談（面談）の時間を設けていただいております。	それぞれのご家庭に必要である情報を提供できるように行っています
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約の時にしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		定期的に確認しています。必要に応じてご家族本人の意向を確認して参ります。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		必ず得ております	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		常に保護者様からの相談を受けられるように心がけております。	相談しやすいような環境、必要に応じて的確な助言、他機関への相談も含め行っています

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3		毎年12月に保護者会を開催しております。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		迅速かつ適切に対応していきます	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		毎月アニマート通信（写真付き）で配布しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		鍵付き書庫にて保管しております。	細心の注意を職員全員でおこなっております
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		個人にあったツールを活用しています	子どもには絵カード等を用いている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		サマーコンサートにお誘いしております	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		定期的に行っております	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		3か月ごとに、地震、火災、水害の訓練をしており避難場所まで安全に移動します	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		アセスメント情報により行っております	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		禁忌を掲示し職員全員が把握しております	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		危険個所には常に目を配り安全管理の徹底をしております	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		保護者様にも周知して参ります	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		報告書を提出し会議を行い再発防止に努めています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		多くの職員が研修に参加できる機会を確保していきます。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		身体拘束なし	今後身体拘束について行う場合は、保護者様にきちんと説明していきます	